

# 国際経済学特殊講義B I

科目ナンバリング ECP-405  
選択必修 2単位

シゲルハイロウ

## 1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、特に日米二国間関係の観点から、明治時代から今日まで、日本の経済・商業を形成した、また形成しつつある様々な力について考察する。重要な経済・貿易の概念を紹介し、日本の産業・サービス部門の様々な変容を検討・理解するための分析的枠組みを提供する。暗号通貨など、歴史的な貿易トピックや現在の貿易トピック(秋学期)を幅広く取り上げる予定である。

## 2. 授業の到達目標

1. 日米および近隣諸国に影響を及ぼす現在の貿易問題について幅広く見識を深める。  
2. 2. 具体的な貿易問題の是非について、政府、企業、社会のそれぞれの立場からの視点を養い、議論することができるようになる。  
3. 3. 貿易と世界経済を取り巻く多様な問題の関連性を理解することができるようになります。

## 3. 成績評価の方法および基準

授業への参加。30%、小テスト。20%、中間試験20%、期末試験30

## 4. 教科書・参考文献

教科書

教科書 なし

主にLMSを使用し、与えられたトピックについて、ニュース記事、学術論文、政府報告書など、信頼できる情報源から関連情報を検索することが求められます。

補足資料を配布することがある。

本講座で使用する教材はすべてLMSにアップロードし、受講者の参照に供する予定です。

## 5. 準備学修の内容

経済の基本的な理解を学びます。学んだ資料を理解します。

## 6. その他履修上の注意事項

課題内容

グループディスカッション

第1週目に、学生は提供されたリストの中から興味のある2つのトピックを選び、それについて調査し、小グループでのディスカッションをリードします。3週目から7週目までは、1つのトピックについてディスカッションを行い、9週目から13週目までは、もう1つのトピックについてディスカッションを行う。

毎週のディスカッションのリーダーを任せられた学生へ。各受講生は以下のことを行うことが要求されます。1) MELICを使って、選択したトピックに関連する実質的な記事を1つ探し、2) その記事の要点を明確に要約し、3) その記事に基づいた自由回答形式の質問を3つ作成し、クラスで議論する。日経新聞、朝日新聞、東京経済、Wall Street Journal、New York Times、Forbesなど、信頼できる情報源から記事を選択することが望ましい。また、学術雑誌の記事を選ぶことも推奨します。

記事(PDF)、記事の要約、グループ討論のための3つの自由形式の質問は、グループ討論の予定日の1週間前までにLMSにアップロードする必要があります。クラスメートが記事と要約に目を通し、作成した質問についてじっくり考える時間を確保するために、これらの資料を期限内にアップロードすることが重要です。

ウィークリー・ディスカッションを担当しない学生へ。その週にディスカッションを担当しない学生は、ディスカッションリーダーがLMSに投稿した記事とディスカッションの質問をすべて読んでから授業に臨み、ディスカッションリーダーが用意した質問に対して自分の意見を述べる準備をしておくことが要求されます。

グループディスカッション クラスは少人数のディスカッショングループに分かれ、各グループに1名の学生リーダーが付きまます。ディスカッション・リーダーは、自分が選んだ記事の内容を要約し、事前に用意された自由形式の質問に基づいてグループ・ディスカッションを仲介し、グループの洞察と結論をまとめてクラスで発表する。グループリーダーは、選択した記事の質と関連性、およびグループのディスカッションをいかにうまく進行させたかで評価される。他の学生は、グループ討論への参加度によって評価される。

学生は授業で積極的に活動し、授業外で勉強を準備し、授業で意見を述べる事が期待されています。宿題は必須です。時間通りにクラスに来ることは必須です。厳格な出席ポリシーが遵守されます。

## 7. 授業内容

【第1回】 オリエンテーション

【第2回】 経済学基礎 I .GDPと一人当たりGDP、財とサービス、需要と供給、独占賃借権

【第3回】 基礎経済学II :規模の経済、産業政策

【第4回】 経済学基礎III:外部性

【第5回】 貿易の概念。

国際収支、公正取引、互恵関係、関税と関税障壁、非関税障壁、ダンピング、クォータとVERs

【第6回】 貿易の利益とコスト。

貿易のシステム、比較優位

【第7回】 外国為替制度。重要性、固定相場、変動相場

【第8回】 中間テスト

【第9回】 経済史 日本 明治・第二次世界大戦前

財閥、産業人対消費者、サプライチェーン、東アジア共栄圏

【第10回】 第二次世界大戦の経済・貿易の教訓:自由貿易と保護貿易主義。

第二次世界大戦後の主要な国際政治・経済組織。国連、IMF、WB、WTO

- 【第11回】 第二次世界大戦後の日本経済史:財閥と系列、産業界と消費者、天下り
- 【第12回】 日米貿易:鉄鋼業
- 【第13回】 日米貿易:繊維製品
- 【第14回】 期末試験
- 【第15回】 TBD